

# 渋川学区住民福祉活動計画

ふれあって 知恵をだしあい まちづくり

私たちの住む渋川学区は、草津駅に近接し、駅を中心とした東西に大規模店舗が展開され、活気に満ち溢れた「まち」になっています。

駅までの至近距離にある地理的な優位さから、少ない空閑地を活かすためのマンション建設が進み、若い住民が増え、市内13学区・地区・区の中での高齢化率は下から3番目に位置し、家族の平均人数も2.3人となっています。

学区の状況は近年著しく変貌し、新旧住民との混住などから住環境に大きな変化が見られるようになりました。



渋川をこよなく愛する者が、ふれあってみんなの知恵をだしあうことで、このまちに住んでよかったと思えるまちをつくるためにこの計画を策定いたしました。まちの誰かを幸せに出来る。それはあなたのちょっとした気配りから始まります。

平成21年3月

渋川学区社会福祉協議会  
草津市社会福祉協議会

# 五つの重点目標



## 1. 高齢者対策

○高齢者が、生きがいを持って地域で活躍できる環境づくりを目指します。

- ・ひとりずつ、近くの人を誘って地域サロンへ参加します。
- ・老人クラブへの加入率を上げるための呼びかけをします。
- ・社協の高齢者担当委員（福祉協力員）の配置に努めます。



## 2. 子育て支援対策

○子どもたちが安心して健全に過ごせるよう、地域住民あげて見守り活動を進めます。

- ・子どもの見守り活動を支援します。
- ・根気よくあいさつ運動を展開します。
- ・子育てサロンの継続開催に努めます。



## 3. 障害者対策

○障害者も気軽に地域行事に参加でき、交流が図れるよう支援体制づくりに努めます。



- ・手話講座の開催に取り組みます。
- ・福祉センター利用者との交流を図ります。
- ・障害を持った方も地域のイベントに参加いただけるよう努めます。



## 4. 生活環境対策

○向こう三軒両隣の関係を大切にし、心の通った近所づきあいに取り組みます。

- ・町内会活動へ積極的に参加いただくよう取り組みます。
- ・あいさつ運動をすすめ、回覧板は手渡して回すようにします。
- ・町内会へ加入いただくよう呼びかけます。



## 5. 災害時の安否確認対策

○有事の際の役割分担を決め、防災訓練等を通じ住民の実態把握に理解を求めます。

- ・日ごろから災害時の役割（連絡網）をグループ別に決めておきます。
- ・自主防災隊（協力員）などを支援し、防災（避難）訓練を実施します。
- ・住民の確認方法、名簿の整理などルールづくりに取り組みます。



住民みんなで

“ふれあって知恵をだしあい”

住みよい渋川のまちをつくりましょう!



## 渋川学区住民福祉活動計画とは

草津市では、誰もが安心して暮らせるまちづくりを進めるため、市民参加の草津市地域福祉計画が策定され、その計画と連携・協働するため草津市社会福祉協議会では、平成20年1月、「こころ温かく支えあい住みつけたい福祉のまち・くさつ」を基本理念とした「草津市地域福祉活動計画」を策定しました。

「渋川学区住民福祉活動計画」は、草津市地域福祉活動計画における地域福祉活動推進の基本目標である「くらしの課題を明らかにし、解決に向け住民みんなで話し合い取り組む地域福祉活動の促進」を受けて、市社協と学区社協とが協力し問題の解決を図る仕組みをつくることを目的に策定しました。

## 策定の経過

### ◆第1回策定委員会 7月2日(水)

- 学区住民福祉活動計画の策定について策定マニュアルにより市社協から説明
- 次回以降の進め方について協議

### ◆第2回策定委員会 8月5日(火)

### ◆第3回策定委員会 9月4日(木)

### ◆第4回策定委員会 10月2日(木)

- 高齢者・子育て支援・障害者・生活環境・要援護者の安否確認など五つの課題を重点目標に定め三つの分科会に分かれて点検

### ◆第5回策定委員会 11月12日(水)

- 点検された分科会ごとの課題について、学区として取り組むべき重点項目を選別
- 渋川学区にふさわしい「スローガン」を各委員が提出

### ◆第6回策定委員会 12月4日(木)

- 「学区社協事業点検シート」「学区社協活動点検表」を確認
- 「スローガン」決定

### ◆第7回策定委員会 1月13日(火)

- 計画(案)について検討

### ◆第8回策定委員会 2月17日(火)

- 計画(案)確認

### ◆第9回策定委員会 3月5日(木)

- 計画(案)最終決定

